

# システム移行：Carbonite™ Migrate

データとワークロードの移行をシンプル化

Carbonite™ Migrateは、リスクとダウンタイムを最小限に抑えながら、物理、仮想、クラウドプラットフォームのワークロードを、距離を問わず迅速かつ簡単に移行します。プロセスの合理化により、手作業で行うとヒューマンエラーが発生しやすい多数の手順を自動化して少数のシンプルなタスクに集約できるため、移行の目標を達成するために必要な作業量を減らすことができます。

## データとワークロードの移行における課題

長い所要時間、高いリスク、多大なリソースへの負荷

ダウンタイムやデータ損失を恐れてデータの移行を躊躇する組織は少なくありません。データやワークロードの移行は確かに負担が大きくなりがちですが、多くの企業にとって避けて通ることのできないプロセスです。移行が必要になるケースは、企業の合併または拠点の移動や、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションのアップグレードおよびクラウドへの移動に伴うものが一般的です。

## 自らにとって必要な取り組みである移行を避けてしまう組織が多くなる理由

- ITリソースにおける時間およびコスト投入の必要性
- プロジェクトの複雑さ
- 移行に関連して発生するダウンタイム
- データの損失や破損のリスク
- アプリケーション性能の問題

## データとワークロードのシームレスな移行

物理、仮想、クラウドを問わないあらゆるプラットフォーム間での移行

Carbonite™ Migrateはシンプルで再現性が高いため、パブリッククラウドと他環境の間やパブリッククラウド同士の間でのプラットフォームの変更を、システムの可用性に影響を与えることなく実行できます。また、プラットフォームのロックインを回避してIT投資における俊敏性と柔軟性を高めることができます。

## Carbonite™ Migrateが提供する機能

- 自動化およびオーケストレーションされたワークフロー
- 物理、仮想、クラウドベースの任意のプラットフォームおよびあらゆる場所をまたいだ移行への対応
- パフォーマンスや帯域幅への影響を最小限に抑えダウンタイムを短縮した、スケーラブルな継続的レプリケーション
- 簡単に実行できる無停止のテスト
- AES 256ビット暗号化によるデータセキュリティの確保
- サーバー 1台から複数のデータセンターにまたがる1,000台のサーバーまで、あらゆるシナリオに対応するスケーラブルなソリューション

## メリット

Carbonite™ Migrateはプラットフォーム(物理、仮想、クラウド)、ストレージの種類、OSを問わず、リスクを最小限に抑えながらデータの移行を自動化します。

- ダウンタイムがほぼゼロの構造化された反復可能な移行
- 一般的なリスクを排除し移行を合理化する、高度に自動化されたプロセス
- データストレージのコスト削減による費用対効果の向上
- 特定のクラウド、ハイパーバイザー、またはハードウェアにロックインされない柔軟性

# 「Carbonite™ Migrateはスピードと信頼性に非常に優れています。移行プロセスが短縮されましたし、お客様に影響するダウンタイムはほぼ発生しませんでした」

- BORDONARO IT, CEO, Dino Bordonaro氏

## データ移行におけるリスクを低減するCarbonite™ Migrateの仕組み

### 一元的な管理

Carbonite™ Migrateは移行元と移行先を問わず、現行システムの初期調査から移行先でのVMのプロビジョニング、最終的なカットオーバーに至るまで、移行プロセスのすべてをオーケストレーションします。

また、リアルタイムで実行されるバイトレベルのレプリケーションを使用して、移行の対象となるデータ、アプリケーション、データベース、またはサーバー全体のレプリカを作成します。権限や属性、ファイル名、削除、暗号化の設定などの変更をミラーリングすることで、レプリカの同期が維持されます。

### あらゆる環境間での合理的なレプリケーション

Carbonite™ Migrateでは、AES 256ビット暗号化を使用して移行元システムを移行先にレプリケーションするため、セキュリティが確保されます。Carbonite™ Migrateのレプリケーションプロセスでは、帯域幅の効率を最大限に高めるためにデータを小さなかたまりに分割して送信するほか、複数のレベルの圧縮が組み込まれ、帯域幅の調整も可能になっています。エンドユーザーは最終的なカットオーバーの時点まで移行元のシステムの利用を継続できます。

移行先サーバーの検証とテストカットオーバーは、本番システムや業務運用を中断することなくいつでも実施できます。

### 新しいシステムへのカットオーバーを数分で完了

カットオーバー自動化の機能により、カットオーバーによるダウンタイムを数秒～数分に短縮します。すべてを元のシステムに戻す必要が生じた場合も方法は簡単です。統合コンソールで管理している場合も、スクリプトで自動化している場合も、サードパーティ製ツールと統合されている場合も、プロセスは反復可能で予測可能です。

## サポート対象プラットフォーム

### オペレーティングシステム

- CentOS
- CloudLinux
- Debian Linux
- Microsoft Windows Server
- Oracle Enterprise Linux
- Red Hat Enterprise Linux
- Rocky Linux
- SUSE Linux Enterprise
- Ubuntu

### 移行先の環境

- Amazon Web Services (AWS)
- Google Cloud Platform
- Microsoft Azure
- Microsoft Hyper-V
- VMware ESXi
- VMware vCloud Director
- VMware vSphere

Carbonite™ Migrateはサイバーセキュリティの一翼を担うソリューションです。サイバーレジリエントであるということは、サイバー攻撃や偶発的なデータ損失への耐性が高く迅速に復旧できるということです。OpenText Cybersecurityは、お客様がサイバー脅威への不安を感じることなくオンラインでビジネスを推進できるように、データを安全に保護するサイバーレジリエンスソリューションを幅広く提供しています。当社のセキュリティとバックアップのソリューションは、シンプルな方法によるサイバーレジリエンスの構築を支援します。詳細については、[OpenText Cybersecurity Solutions](#)をご覧ください。

opentext™ | Cybersecurity

お問い合わせ：オープンテキスト株式会社 [info.sdm.b2b@opentext.com](mailto:info.sdm.b2b@opentext.com)

Copyright©2023 OpenText Corporation or affiliate company. OpenText is a trademark or registered trademark of Open Text SA and/or Open Text ULC. The list of trademarks is not exhaustive of other trademarks, registered trademarks, product names, company names, brands and service names mentioned herein are property of Open Text SA or other respective owners. All rights reserved. DS\_020623

### Carbonite™ Migrateの展開モデル

